

主題	平成24年度「全国安全週間説明会」開催		
開催日時	平成24年6月14日	場所	島原文化会館
参加人数	70名	主催	社団法人長崎県労働基準協会 島原支部
開催の目的（趣旨）			
<p>島原労働基準監督署は、（社）長崎県労働基準協会島原支部が主催する平成24年度「全国安全週間説明会」に参加しました。</p> <p>この説明会は、全国安全週間（7月1日～7日、準備期間：6月1日～30日）にあわせて毎年開催しているもので、事業場の安全担当者に対し、安全週間及び準備期間中に実施する事項並びに災害防止対策の事項を説明することにより、安全意識の高揚及び自主的な安全管理活動の促進を図ることを目的としています。</p>			
概要			
<p>説明会では、基準協会島原支部長及び島原署長の挨拶の後、全国安全週間標語優秀作品表彰が行われました。</p> <p>基準協会島原支部では、全国安全週間に向けて標語の募集を行っており、応募があった「465作品」の中から最優秀1作品、優秀2作品、佳作2作品が選ばれました。</p> <p>受賞作品は、以下のとおりです。</p> <p>【最優秀】 うっかり ぼんやり 事故の元 声かけあって 安全作業</p> <p>【優秀】 ちょこつとやっけん すぐすむけん それでいいのか安全は まあいいか そんな気持ちが事故の元 初心を忘れず 再確認</p> <p>【佳作】 あせる気持ち事故の元 ゆとりを持って安全職場 もう一度 確かめよう 作業前の手順確認・危険予知 心のゆとりでゼロ災害</p>			

その後、島原署の担当者から、全国安全週間実施要綱について説明がありました。

平成24年の島原署管内の労働災害発生状況について、5月末時点が59人と、前年同期と比べ20人（+51.3%）も急増しており、労働者の安全意識の高揚につながる安全活動の実施方法等について説明を行いました。



その後、同じく署担当者から、「写真でみる災害防止対策の取組事例」と題して、災害事例から原因・対策を分析し、安全対策を写真で紹介しながら、実際に各企業で取り組まれている具体的な事例を説明しました。

【スライド資料の一例】

災害発生事例

果物が入った段ボールをコンベアに積み込み作業中、手袋がコンベアのチェーンに巻き込まれて、手指を負傷した。



【原因・対策】

- ・チェーンにカバーがなかったこと。
- ・手のサイズに合った手袋を着用していなかったこと。

